

「その名をイエスとつけなさい」 マタイ 1：18－25

I 聖霊なる神によるマリヤの奇蹟的な受胎。「イエス（名）・キリスト（職務：油注がれた者、メシヤ、救い主）の誕生は次のようであった。その母マリヤはヨセフの妻と決まっていたが、ふたりがまだいっしょにならないうちに、聖霊によって身重になったことがわかった。夫のヨセフは正しい人であって、彼女をさらし者にはしたくなかったので、内密に去らせようと決めた。彼がこのことを思い巡らしていたとき、主の使いが夢に現れて言った。『ダビデの子ヨセフ。恐れないであなたの妻マリヤを迎えなさい。その胎に宿っているものは聖霊によるのです』：18－20。ここで一番、心に留めるべき事は、救い主イエス様は、ヨセフとマリヤが、まだいっしょにならないうちに、聖霊なる神のお働きでマリヤの胎に宿られたという奇蹟的な事実。これは人間の医学では、考えられない事。しかし、神には不可能はない。もともと父、子、聖霊なる神は、無から有を、天と地を造られた偉大なお方！人間や動物、植物すべてに命を与えておられるお方。聖霊なる神によるマリヤの受胎には、神の深いご計画、意味があった。ヨセフとマリヤの通常の夫婦の関係を通して生まれる子なら、アダムとエバからの罪を引き継いでしまい、人々を罪から救う聖い罪なき救い主になることはできなかった。しかし、イエス様は、聖霊によりマリヤの胎に宿られ、全人類の中でただ一人、罪の性質が全くない人としてお生まれになった。それは、私たちの罪を背負い、私達を罪から救う資格のある救い主となる為だった。心から父なる神（大切なひとり子キリストを救い主として世に遣わされた）と御子キリストなる神（クリスマスに、神であるのにへりくだり、人となられた）と聖霊なる神（マリヤの胎にイエス様を宿された）に心から感謝！私達への神の大きな愛：「わたしの目には、あなたは高価で尊い。わたしはあなたを愛している」（イザ43：4）。

II イエスという名の意味。「マリヤは男の子を産みます。その名をイエスとつけなさい。この方こそ、ご自分の民をその罪から救ってくださる方です」：21。「イエス」＝「主は救い」の意。旧約聖書に出て来る「主」は、イエス御自身。父、子、聖霊なる神が、主（ヤハウェ）ご自身。「名は、体を表す」と言われるが、正にイエス様は、完璧に、イエス（主は救い）という「名は体を表す」お方。「この方こそ、ご自分の民をその罪（原語：複数形。私達には、数えきれない罪がある。原語の意：「的外れ」＝真の的である神から外れている）から救ってくださる方です」→イエス御自身こそ、神であるイエス御自身が造られた、命を与えられたご自分の民をその罪から救って下さるお方！感謝します。私達を私達の罪から救って下さるお方→①私達の罪（心の汚れ、不品行、憎しみ、恨み、ねたみ、陰口、悪口、不正、うそ）の為に十字架で死なれ私達の罪を完全に償われた。それゆえに、私達が自分の罪を正直に神に告白するなら、私達の罪を赦して下さる。そして、新しい命、永遠の命、復活の命を与えて下さる！②罪の赦しだけでなく、私達の中にある罪の力、縛られた悪習慣から解放し続け、御聖霊により聖め続けて下さる。

III 「このすべての出来事は、主が預言者を通して言われた事が成就するためであった」：22。救い主の誕生、クリスマスは、偶然の出来事ではなく、神の時が満ちて、神の約束、旧約聖書の預言が実現、成就した事実の出来事。「ことばは人となって、私たちの間に住まわれた」（ヨハネ1：14）。「救い主が生まれる」という旧約の預言のことばは、成就、実現し、神である主が人間となられ、クリスマスに生まれ、私達の罪の為に十字架で死なれるまでの33年間、この地上で生活され、人々の間に大きな愛

と聖さをもって生活された。

Ⅳ 「見よ、処女がみごもっている。そして男の子を産む。その名はインマヌエルと呼ばれる。」（訳すと、神は私たちとともにおられる、という意味である。）：23。偉大な神であるイエス様が、私達のもとに、下へ下へ降りて来られ、私達とともにおられる救い主となられた。※苦しむ人々の所へ、心を込めて降りて来るのは、大きな愛。何と、偉大な神である主が低く降りて来られ、主を信じる私達の心の中に御聖霊を通して住んで下さる。どんなにつらい時も、そばにおられ、心の中にもおられる！慰め励まして下さる。主は、私達が病気になった時、私達の気持ちを理解し、病床に共におられる。親しい人を失い悲しみの中にある時、主は私達の傷ついた心の隅々まで御存知であり、心の痛みを理解し、寄り添って下さる。今、悩んでいる私達の悩みを主は深く理解しておられる。私達の人生には、皆、試練がある。辛い試練の中で、聖書が語りかける。「あなたがたの会った試練はみな人の知らないものではありません。神は真実な方ですから、あなたがたを、耐えられないほどの試練に会わせることはなさいません。むしろ、耐えられるように、試練とともに脱出の道も備えてくださいます」Ⅰコリ10：13。耐えられるように、試練とともに備えられる「脱出の道」＝辛い事から逃げ出す道ではなく、インマヌエルの主が、試練の中でも私達と共におられ、試練に耐える為の力と愛と思慮分別を主が与えて下さる道。試練の中でしか学べない事を学ばせ、主に似た品性を心に与えて下さる道。「すべて、疲れた人、重荷を負っている人は、わたしのところに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます。わたしは心優しく、へりくだっている（低い私達の所に降りて来て共におられる）から、あなたがたもわたしのくびきを負って、わたしから学びなさい。そうすればたましいに安らぎが来ます」マタ11：28, 29。「わたしは決してあなたを離れず、また、あなたを捨てない」ヘブ13：5。「見よ。わたしは世の終わりまで、いつも、あなたがたとともにいます」マタイ28：20。マタイの福音書は、インマヌエルで始まり、インマヌエルで終わる。いつも共にいて下さる主を礼拝し、感謝し、抛り頼みたい。